

人間らしく生き働き続けられる社会を

新しい年のはじまに寄せて



香川教育



香川県教職員組合

中央執行委員長
大久保 和彦

勇気を出しつて
声を上げること

タレンントのローラさんが米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古への移設工事を止めよう求める米ホワイトハウスの嘆願書サイトへの署名を呼びかけた。

タレンントが政治的発言をすると、見せしめみたいに、芸能界から干されることが多い中、勇気ある行動に心懸した。

私たち教職員はどうだろうか。

給料2%カットや退職金の引き下げを提案されて、「え！」とは思つても、どうするともできな

い。そこで活躍するのが組合である。みんなの意見を聞いたり、署名を集めたりしてまとめ、交渉す

る。撤回させることはなかなかで

きないが、数値を引き下げたり、実施時期を遅らせたり、それなり

ているのは働き方改革である。勤

発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
kakyoso@kakyoso.com
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
組合員の購読料は組合費に含む

香教組ホームページ
<http://kakyoso.com/>

第95回
香教組定期大会
2019年
2月23日（土）
10：00～
高松テルサ

務時間管理は行われるようになつたが、超過勤務は一向に減らない。残業代は出ず、割り振りも全くな

い。給特法で教職調整額4%が出しているが、これは、1週間の残業時間が小中で「1時間48分」だつた1966年度の調査結果をもとに決められた。今では小学校で1

8時間、中学校で24時間を超えている。仮に4%を今のが残業時間に合わせて大幅に引き上げると、国と地方を合わせて年間9千億円以上が必要になると文科省は試算している。残業代を出すか、教職員を増やし超過勤務を減らすか声を上げなければならない。

現場にも平和の波を

私たちの組合の普遍のスローガンは「教子を再び戦場に送るな」である。今、憲法9条がねらわれていた学校の6年生は、原爆で亡くなつた人の数だけ、新聞などの顔を切り抜き、模造紙に貼つていった。壁に收まらず天井いっぱいに悲惨さを感じとつていた。夏休みには、戦争体験を校長から話して

広がつた顔を見て戦争の、原爆の、朝ごはんも食べたりした。誰もが平和を望み、平和教育が行われて

いた。

総合的な学習の時間が始まり、

黙ついたら、戦争が起つる。
徴兵制も始まることだろう。そうならないように、勇気を出して声を上げなければならない。ぜひ、組合に入つていっしょに声をあげましよう。

一緒に声をあげましょ

平和教育が盛んに行われるのかと思つたがそつはならなかつた。湾岸戦争の頃、お金だけ出す日本に対し、目に見える貢献をと言われた。自分の国だけ平和でいいのか、平和ボケとか言われ、平和という言葉がタブーみたいになつたようと思われた。そして教育基本法改正（2006）。愛国心教育が盛んに行われるようになつたよう

に思われた。そこで教育基本法改

正（2006）。愛国心教育が盛んに行われるようになつたよう

力をあわせてつくりまじょと
平和な未来へ

全日本教職員組合（全教）
中央執行委員長
中村 尚史



新年、あけまして
おめでとうございます。

子どもたちは、昔も今も平和を望んでいます。この思いを大切に
する社会でありたい、そのためにも憲法9条改憲を許さず、憲法が
いきて輝く社会をつくるために力を合わせることを大切にとりくみ
をすすめたいと思います。昨年、国内外で市民の共同したとりくみ
が政治を動かす力となりました。アメリカでは、米国民の12%
（約4千万人）と最大の人口を持つカリフオルニア州議会が核兵器
禁止条約を支持する決議をあげました。沖縄知事選では台風が直撃
する中でも多くの県民が投票所に足を運び玉城デニー知事を誕生さ
せました。著名なモデルが辺野古新基地建設を止めることを求める
署名を呼びかけたことも話題となりました。

安倍政権の暴走はとどまるところを知りませんが、私たち一人ひとりが力を合わせれば、社会を変えることができる、そのことが実感できる時代でもあります。教職員の長時間過密労働の問題も教育関係者の大多数は、「教職員をふやすことなしには解決しない」とで一致しています。あとは、その願いを一つにつなげ、実行にうつす政治を実現することです。

それは、憲法と子どもの権利条約にもとづく教育と社会の実現を求めるところもあります。今年は、子どもの権利条約が1999年11月20日に国連で採択されてから30年、全教の前身である全日本教職員組合協議会の結成から30年を迎えることになります。その節目の年、4月には統一地方選挙、夏には参議院選挙が行われます。私たちの願いを実現する政治に転換するために、力を合わせることを呼びかけ、新年のあいさつといたします。

新年謹賀

